

ガレージ

EXCITING CUSTOM CAR LIFE
custom car vol.547

新旧融合のMOONEYES
60プリウス考察

5

MAY 2024.

Showa Garage X-Line

TYPE-111

RB SHOWA GARAGE

LIGHTNING

Powered ECU

SR43



オーストラリア発
本場のJB74オーバーランダー



ハード系からオシャレ系までJIMNY戦線狙い撃ち!

激走
カスタム
最前線

ジムニー★グオース

- ☆最新JB64&74デモカー目白押し
- ☆マニアックなアーリージムニーブロス
- ☆すぐに履きたい最旬ホイール

コレが
レートって
マジか!

プロジェクトKEI ver.2



BRIDE ERGOSTER

インテリア

編

ジムニーのインテリアはお世辞にも広いとはいえない。普通車ナンバーのシエラでも、軽のジムニーと車内幅は同じだからだ。そこで、インテリアパーツを活用して車内を快適に過ごそう！ まずは、日本が誇るスポーツシート、ブリッド渾身の新作から検証していくぞ!!

問>>ブリッド ☎052-689-2611

<http://bride-jp.com>

PHOTO/南井浩孝



ジムニーの狭い車内でも問題ナシ!
スポーティな最新セミバケシートでキメるっ!!



BRIDE



ERGOSTER

【エルゴスター】

価格＜税込＞：14万8500～15万9500円

※シートヒーター搭載モデル：+1万8700円

※専用別売りアームレスト(左右用あり)：9900円

グラデーションロゴBE

ブラック
BE

レッド
BE

チャコールグレー
BE



ベースカー／ジムニーシエラ(JB74)

従来のブリッドのシートにはないエッジの効いたショルダーデザイン。ウレタンの厚みを抑え、サイドサポートを浅くしている。これにより、タイトな車内空間の車種でも装着が容易に。もちろんサポート力は、ブリッドクオリティだ。

**最大のポイントは
ショルダーサポート!!**



**乗降時も引っかかり
ほぼフラットな座面**



スポーツシートが敬遠される理由のひとつが乗降のしにくさ。座面のサイドサポートがその原因だったが、エルゴスターは極力フラットに。JB74にエルゴスターを装着した場合、着座位置は純正比マイナス20mmとなる。バックレストも厚みを抑えているので、ジムニーの狭い後席の居住性も確保。また、シートバックには大型のポケットを備えており、雑誌、取説、車検証などを収納できるぞ。



ジムニーは純正でシートヒーターが装備されているので、オプションでシートヒーターを追加したい。シガーソケットから電源を供給し、ダイヤル操作で6段階の温度調整が可能。



ブリッドのセミバケットに標準装備されるクイックリリース。純正シート同様に、ワンタッチでリクライニングが可能。2ドアのジムニーの後席乗降時には絶対必要な機能だ。

ジムニーに限らず、軽バンや軽トラなど、車室内の狭い車種は、純正シートより大型のイメージが強いスポーツシートへの交換は選択肢にも入らない……ハズだったが、その常識を覆すスポーツシートがブリッドから登場したのだ！

その名も「エルゴスター」!! ブリッドの2024年最新モデルで、開発コンセプトは「車内が狭い車種でも装着でき、ローポジションを実現しつつ乗降性は損なわない」こと。立ち位置的には「入門モデル」に位置づけられる。

最大の特徴は、ショルダー幅を500mmと、コンパクトかつスポーティなデザイン性に仕上げたこと。ショルダーサポート部の筋肉を削り込むことで、エラが張ったような特徴的なデザインとなったのだ。コンパクトながらも身体を適度に包み込むバックレスト形状により、横揺れから姿勢を支えるホールド性を持ち、スポーティなルックスも兼ね備える。

また、ドライビングポジションが極端に上がらないように、座面を薄く設計しているのも見逃せない点。ほぼフラットな形状で、乗降がとにかくスムーズ。薄くしたことで座り心地を犠牲にしたかという点、そんなことはナッシング。座面に使用するウレタンは硬度や密度にこだわって、さらには人間工学に基づいたS字型のバックレストを採用し、長時間ドライブでも疲労を軽減してくれるのだ。

機能面だけでなく、耐久性にも考慮。運転時の肩と脇部分、乗降時の座面サイド部と、擦れやすい個所に耐久性のあるPVCレザーを採用。センター部はメッシュ地(グラデーションロゴBEのみ専用生地)を使用し、通気性も確保する。コンパクトなショルダー幅、フラットな座面、適度なホールド性と、まさにジムニーのために設計されたようなエルゴスター。マジでオススメです!!